

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2010年
10月5日(火)
第1号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

保育闘争委員会ニュースの発行について

東京自治労連保育闘争委員会は、公的保育を根底から破壊する「子ども・子育て新システム」の導入を阻止し、公的保育の拡充をめざすために、保育闘争委員会ニュースを発行することにしました。

政府の動向、保育・幼稚園関係団体の動き、よりよい保育実行委・自治労連・東京自治労連の方針、各単組の取り組み、保護者や地域の取り組み、全国のたたかいなどを随時報道し、たたかいを急速に強めることをめざします。

各単組から、取り組みや様々な動きなど情報提供をお願いいたします。

また、週2回程度の発行をめざしますので、関係者へのメール・FAX・印刷での提供を機敏に行っていただくようお願いいたします。

配信の希望がありましたら、希望のアドレスでその旨をメールに記して送信ください。

10/4 東京自治労連拡大中央執行委

「子ども・子育て新システム」とたたかう行動計画確認

10月4日午後6時30分から開催された東京自治労連拡大中央執行委員会は、秋のたたかひの重点課題として、『子ども・子育て新システム』の導入を阻止し、公的保育制度を守る行動計画を確認しました。

「行動計画」では、「新システム」阻止のためには、この秋が正念場として、東京自治労連、単組をあげてのたたかひの強化を呼びかけています。

学習を徹底して重視するとともに、共同を大きく広げ、20万筆の署名をめざすとともに、当面の重点として、10月23日の産別を越えた保育労働者の学習決起集会（13:45～社会文化会館）に東京自治労連として400人（全体600人）の参加をめざし、さらにそこをステップにして、秋の最大の決起の場である11月14日5000人規模の「こわすな保育制度、つくろう保育所—すべての子どもによりよい保育を！大集会」（日比谷野音 12:30～）に東京自治労連としてかつてない1000人の参加を提起し、保育職場以外からの積極的参加も呼びかけています。11・14で1000人をやりきるなかで、対政府闘争を格段に強めるとともに、東京のたたかひを一気につよめることをめざしています。

参議院厚生労働委員会では、児童福祉法24条にもとづく公的保育制度の堅持・拡充＝「新システム」反対、国の責任での緊急保育所整備などの請願が8月6日に全会一致で採択されています。九州で開催された私立保育所・幼稚園経営者のシンポでは、多くの人から人から「新システム」反対・懸念が表明され、60万の署名が集められていることも伝えられています。また、特別区議長会をはじめ、栃木県議会、福岡市議会、富山市議会など「新システム」反対・公的保育の拡充を求める意見書が採択されています。

内容が伝われば、保育・幼稚園関係者の圧倒的反対が広がる状況であり、たたかひを一気に強めることが求められています。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください】